

お問い合わせ先 一般社団法人 日本医療経営実践協会 事務局 TEL.03-5296-1933 FAX.03-5296-1934 http://www.JMMPA.jp/



第3回「全国医療経営士実践研究大会」京都大会開催!

「地域をデザイン」する医療経営士が集結
病院経営・地域創生の新たな地平を切り開く

一般社団法人日本医療経営実践協会は11月2日(日)、3日(月・祝)の両日、京都市にあるメルパルク京都において、「地域をデザインする医療経営士」をテーマに、第3回「全国医療経営士実践研究大会」を開催した。第1号者による基調講演から医療経営士による演題発表まで多彩なプログラムに対する関心も高く、会場には日本全国から約200名の医療経営士が集結。盛況のうちに幕を閉じた。

地域包括ケアの提唱者による
基調講演で華やかに開幕

秋の京都にて開催さ

れた第3回全国大会は、本協会の吉原健二代表理事の挨拶で幕を開けた。吉原氏は、「医療・介護の提供体制の見直しが必要で、各医療機関の経営者は難しい選択を迫られている。経営者を支える医療経営士の果たすべき役割は大変大きい。国民が安心して必要な医療を受けられる体制を堅持するための医療経営士の仕事に期待したい」とエールを送った。

続いて、大会運営委員長の水嶋一郎関西支部支部長が登壇。「全国の医療経営士に京都に集結していただき、医療経営士の価値を高め、医療経営士が医療のなかで大きな戦力になることを知らしめる内容になることを願っています」と開会のことばを述べた。

とばを述べた。

基調講演では、30年前から地域包括ケアの仕組みづくりを行ってきた公立みつき総合病院名誉院長・特別顧問の山口昇氏が、その手法について自院での取り組みをもとに紹介した。同院では「住民のための病院」を目指していたが、これはボランティアというのではなく、地域包括ケアへの取り組みが健全経営にもつながると強調した。

続いて、新仁会グループ本部専務理事の太田憲宏氏と社会医療法人ベガサス法人本部長の田中恭子氏による対談「地域における病院経営・民間病院の事業戦略」が行われた。それぞれが抱える課題とそれを踏まえた戦略を語り合

2015年 一般社団法人日本医療経営実践協会

「新春講演会」&「新春の集い」

地方を変える、国を変える、医療を変える ——
地方創生の第一人者が語るこれからの医療・介護の方向性とは

●開催日
2015年2月7日(土)
第I部: 15:00~16:30
第II部: 17:00~19:00

●定員
第I部: 160人
定員になり次第、締め切らせていただきます。

●参加料
第I部: 会員:3,000円、一般:5,000円
第II部: 会員限定:3,000円
※会員:医療経営士、介護福祉経営士。
申請中の方も参加可能です。

●会場
アルカディア市ヶ谷(私学会館)
東京都千代田区九段北4-2-25

【第I部】新春講演会 15:00~16:30(開場14:30)

テーマ

『新しい地域づくりの中で求められる医療・介護の役割と責務』

穂坂 邦夫先生
(医療法人瑞穂会理事長、NPO法人地方自立政策研究所理事長、日本自治創造学会理事長、前埼玉県志木市市長)

【第II部】新春の集い 17:00~19:00(開場16:30)

うとともに、医療経営士へのエールを送った。特別講演は、長尾クリニック院長の長尾和宏氏による「胃ろうの功と罪 延命治療いつやめますか?」。胃ろう患者が増え続けている現状を踏まえて、「胃ろうには適用がある。どのように使っていくか

を議論しなければならぬ時にきている」と問題提起。さらに、「この議論は医者だけでは無理。多職種が『まじくる』ことが重要」と持論を展開した。この日の締めくくりは、清水大会運営委員長が座長を務め、一般社団法人日本医療経営



地域包括ケアについて基調講演を行った山口氏



開会のことを述べる清水大会運営委員長



開会に当たっての挨拶を行う吉原代表理事

実践協会理事の神野正博氏、医療法人松徳会理事長の松谷之義氏、長尾氏をパネリストに迎えたパネルディスカッション。それぞれ、医療機関が、地域のなかで役割を果たすためにはどんな戦略をとるべきか、熱い議論が交わされた。



パネルディスカッションでは白熱した議論が交わされた



医療経営士による熱のこもった演題発表



審査委員とともに誇らしげな表情を浮かべる3名の受賞者



川淵審査委員長から表彰状を受け取る安藤氏

会場からも大きな拍手が送られた10名の医療経営士による演題発表

2日目は、医療経営士による研究発表会が行われた。10人の医療経営士が登場し、日々の研究・実践活動の成果を発表した。東京医科歯科大学大学院教授の川淵孝一氏が審査委員長、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター理事・経営企画局長の中村彰吾氏と日本医療経営実践協会関西支部理事の大村武久氏が審査委員を務めた。川淵審査委員長は冒頭、審査基準を説明したうえで「演題発表後どうなったかという進捗状況をしっかりとモニタリングし、次回以降の大会で再度発表していただきたい」と期待を寄せた。全発表者が素晴らしいプレゼンテーションを展開。そのなかで最優秀賞には、「日本の医療を動かす人材の育成を目指して」その一歩としての職員勉強会」と題して発表した独立行政法人国立病院機構本部職員厚生部職員課労務係の安藤未生氏が選ばれた。

優秀賞には、「よりよい病院にするための職場環境づくり」TQM活動を通じてを発表した医療法人社団高邦会福岡山王病院消化器外科外科医長の園田幸生氏、「雪書をとおして考えるBCP策定」雪国でない地域での雪書の状況報告とBCP策定へ向けた活動報告第1報をを発表した医療法人花仁会秩父病院総務課診療情報管理兼病院経営管理の柳澤孝彰氏の2人が受賞した。

また、この日は、松下記念病院院長の山根哲郎氏が「病院と看護部による二重構造が病院経営を脅かす」と題して特別講演を行った。「看護師は、病院が患者から選ばれる要因の最も大きなパーツの一つ。だからこそ、看護部が病院組織のなかで同じ価値観を持ってチームとして活動することが大事」と話した。大会の最後、壇上に登ったのは次回大会の運営委員長を務める神野氏。「北陸新幹線も開業するので、金沢で盛り上げよう」と会場に呼びかけて次回の盛會を誓い、幕を閉じた。



具体的かつ実践的な内容となった特別対談



多職種の「まじくり」の重要性を訴えた長尾氏



発表者に対しては審査委員から鋭い質問も



神野氏は大会の最後に次回大会の盛會を呼びかけた

医療経営士 初級 テキストシリーズ 第2版対応 DVD

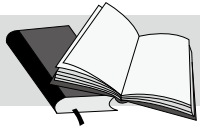


テキスト執筆者による重要ポイント解説DVD
資格認定試験に向けた、重点整理や理解度アップに
職場での集合研修にも最適!

各巻定価：2,700円(税込)
会員価格：2,160円(税込)

巻	タイトル
1巻	医療経営史—医療の起源から巨大病院の出現まで
2巻	日本の医療政策と地域医療システム—医療制度の基礎知識と最近の動向
3巻	日本の医療関連法規—その歴史と基礎知識
4巻	病院の仕組み／各種団体、学会の成り立ち—内部構造と外部環境の基礎知識
5巻	診療科目の歴史と医療技術の進歩—医療の細分化による専門医の誕生、総合医・一般医の役割
6巻	日本の医療関連サービス—病院を取り巻く医療産業の状況
8巻	生命倫理／医療倫理—医療人としての基礎知識

*7巻の発売はありません。あらかじめご了承ください。 2013年7月発行「医療経営士テキスト初級」第2版対応



医療経営士にぜひ読んでほしい おすすめの本

医療介護総合確保推進法で、 病院経営はどう 変わるのか？

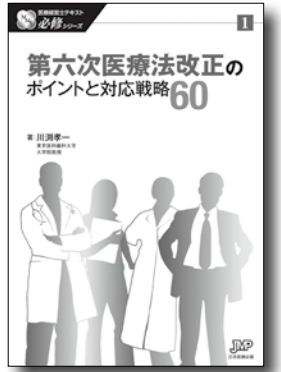
本年6月、医療介護総合確保推進法(正式名「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」)が成立しました。医療法を含めた19本の法改正からなる幅広い内容で、その全貌を把握するのはなかなか困難です。そこで日本医療企画より、医療政策のエキスパート・川淵孝一氏による解説書が緊急刊行されました。

病床機能報告制度
医療事故調査制度
介護保険法改正…



医療経営士テキスト 必修シリーズ① 第六次医療法改正の ポイントと 対応戦略60

川淵 孝一
(東京医科歯科大学大学院教授)



日本医療経営
実践協会
推薦図書

●B6判並製/228頁
●定価:1,500円+税(会員価格:1,200円+税)

また、2014年度診療報酬改定と医療法改正がどのように連動しているのか、来年4月に予定されている介護保険法改正のポイントなどについても取り上げています。混沌と

**未来への道筋を照らす
パーフェクトガイド**

医療ニユースなどでおなじみのキーワードでも、どのような目的をもっているのか、きちんと理解していないことが多いものです。本書では、医療経営士がおさえておくべき60のキーワードと最新情報について、事例などを織り交ぜながら、丁寧に解説しています。

医療ニユースなどでおなじみのキーワードでも、どのような目的をもっているのか、きちんと理解していないことが多いものです。本書では、医療経営士がおさえておくべき60のキーワードと最新情報について、事例などを織り交ぜながら、丁寧に解説しています。

医療介護総合確保推進法によって、病院経営はどのように変わるのでしょうか? 改革の第一弾として第六次医療法改正が行われ、10月1日から病床機能報告制度や医療事故調査制度が施行されました。今後、臨床研究センターの創設や介護保険法改正などが予定されています。

**第六次改正を読み解き、
経営に活かせ!**

- ◆本書の内容◆
- 第1章 これまでの改正を振り返る—第一次から第五次まで、医療法改正の軌跡
 - 第2章 第六次医療法改正の内容とその狙い
 - 第3章 2014年度診療報酬改定にみる医療機能分化・強化・連携と「在宅シフト」
 - 第4章 介護保険法改正のポイントとその狙い
 - 第5章 第六次医療法改正への対策と「成功の鍵」

■書籍問い合わせ先: 株式会社日本医療企画 ☎03-3256-7495

した医療・介護改革の一連の動きを俯瞰し、さまざまな事柄に横串をさすことによって、これからの病院経営の道筋を照らし出します。10月29日(水)には、川淵氏による本書出版記念講演会「第六次医療法改正を読み解く」が東京で開催され、全国から多くの参加者が集まりました。現在、各支部でも本書をテーマにしたセミナーが企画されています。詳細につきましては、決まらずに次第、協会Webページなどでご案内いたしますので、本書と併せて、ぜひご注目ください。

支部NEWS 北陸支部

「医療経営管理者養成講座」(全8回)を通じて 経営全般を見渡せる“ゼネラリスト”の養成を

北陸支部ではこの8月より、「医療経営管理者養成講座」(全8回)をスタートしています。これまでも単発の研究会は開催していましたが、どうしてもテーマごとに参加者のバラつきがあり、経営全般に精通する“ゼネラリスト”の養成という部分では不十分な点もありました。そこで、学習するさまざまなテーマが、経営というフィールドの中ですべてつながっていることを実感してもらうために考えたのが、同じ受講生が体系的、かつ継続的に学べる連続講座という形式でした。

受講生は現職の事務長をはじめ経営管理課、総務課、医事課などさまざまなセクションに所



白熱した講義を通して、明日の医療界を担う人材の育成を目指す医療経営管理者養成講座

属。年齢層も20歳代から60歳代まで幅広いのですが、共通しているのは、「医療経営を体系的に学びたい」という熱い思い。同じ理想を思い描く25名の精鋭たちは講義内容に熱心に耳を傾け、経営ノウハウの習得に励んでいます。

全8回の連続講座では、医療法や患者確保、地域連携や経営企画などに至るまで、医療経営を展開していく中で必要最低限のカリキュラムとして全12項目を網羅していますが、事務局として一番苦労したのが、このカリキュラムの選定でした。例えば「医療制度」や「診療報酬制度」などの分野は市販されている本も多く、自分でも学習しやすいと思われる。しかし、現実の医療経営の現場においては、重要な問題にもかかわらずなかなか学ぶ機会がない事柄や、市販の本には載っていない現場が本当に必要としている項目がたくさんあるはず。そこで現場のニーズにマッチしたカリキュラムを決定するまでには、病院事務長からのヒヤリングや事務局会議を何度も重ね、半年以上の時間を費やしてきました。

その結果、「厚生局による適時調査への対応」について実際に調査を受けた医療機関の事務長に話をさせていただくなど、具体的かつ実践的で独自性のあるラインナップとなりました。受講生からは、「これだけの内容を、地元北陸で受講

できるのは幸せ」「カリキュラムに惚れたので、院長に頼み込んで予算外の研修費を捻出してもらいました」といった評価をいただいております。苦労して策定した甲斐があったのではないかと感じています。

研究会の講師は、地元北陸地方で医療現場の第一線で活躍している経営者を中心としていることも大きな特徴の一つです。講演いただく内容についても、レジュメの棒読みではなく、講師自身が苦労したエピソードを披露していただくよう、事前に入念な打ち合わせを重ねています。単なる一般論や結果論について講演するのではなく、業務プロセスの中で、実際に講師が直面した苦労話を踏まえて解説してもらうことで、将来同じ壁に突き当たる可能性のある受講生に共感を覚えてもらい、より実践力のある人材育成につながっていくことを期待しています。

本講座はすでに始まっていますが、途中参加を希望したいという声にお応えして聴講を受け付けることにしました。地元北陸で、質の高い講義を体系的に学べるこの講座。一人でも多くの方にご参加いただき、明日の医療界を担う人材が育ってほしいと切に願っています。カリキュラムの詳細や参加方法については、協会Webページの支部情報でご確認ください。

協会事務局からのお知らせ

日本医療経営実践協会主催
第3回「全国医療経営士実践研究大会」
京都大会が終了!

年に1度の医療経営士の祭典、第3回「全国医療経営士実践研究大会」京都大会が無事に終了いたしました。

初日(11月2日)の午前中はかなり激しい雨が降りましたが、初日が終了する前には雨も上がり、2日目(11月3日)は北風が強くなり気温は下がったものの好天となりました。会場が駅前のロータリーに面しており、京都駅からほとんど雨に濡れることなく行けたのは助かりました。

観光シーズン真っ盛りの中3連休中日ですから、人出の多さは想像していましたが、広い京都駅は人で溢れ(それも多国籍)、駅前のタクシー乗り場やバス乗り場には長蛇の列。さすがは世界に名だたる観光地だと実感した次第です。

本大会のメインイベントである「演題発表」ですが、今回は10名の医療経営士が登場し、前回に引き続き女性会員が最優秀賞を受賞されました。医療経営の現場での女性の活躍を、「女性の輝く社会をつくる」と息巻く安倍首相にもぜひ知っていただきたいものです……。

さて、前回の福岡大会では、「伝える力」「理解してもらう力」つまり「プレゼンテーション力」がポイントになっていたのですが、今回の大会では、この「プレゼンテーション力」に加えて、「リーダーシップ」が選考を左右したように思います。

職場における改善点や新たな取り組みを経営陣に的確に「伝え」「理解してもらう」ことはもちろん、それを実践し、実行するためには、強い「リーダーシップ」が必要になるということでしょう。そして強い「リーダーシップ」を持った医療経営士が職場の枠を超えて、それぞれの地域の医療経営を支えるリーダーとなるのが期待されていると思うのですが、会員の皆様はいかがお考えでしょうか?

惜しむらくは、京都駅前からまったく移動せずに済んだため、京都らしい風景を見られなかったこと。懇親会で地方色のある催しがちょっとでもあったらいいかなと思った次第です。このあたりは、来年の金沢の大会に期待したいですね。

それではまた次号でお会いいたしましょう。



京都駅前のロータリーは、タクシー乗り場もバス停も長蛇の列。皆さんこれから京都の秋を堪能されるんでしょうね～



会場が熱気にあふれていたためか空調の効きが悪く、かなり暑くなってしまいました。申し訳ございません……



駅前ロータリーに面した「メルパルク京都」が今大会の会場でした。1階入口には大会の看板がドーンとお出迎えです

9月7日(日)に実施した第2回「医療経営士1級」資格認定試験第1次試験の合格者が10月31日(金)に発表され、19名の受験者のうち10名が11月30日(日)の第2次試験へ進むことになった。

日本医療経営実践協会

NEWS & TOPICS

第2回医療経営士1級
第2次試験の
合格者を発表

第2次試験では、プレゼンテーション形式にて課題を説明する「口頭試問」と、「医療経営士1級」として相応しい能力および人格を有しているかどうかを主な合否の基準とする「個人面接」が行われる。

2015年1月期限の
医療経営士資格更新
申請は12月5日まで

類の送付および更新手数料(一万3000円)の入金を行う。今回の更新の具体的なスケジュールは以下の通り。

- 更新書類締め切り 12月5日(金)必着
- 新規会員登録送付 2015年1月中旬(前記期限内に更新手続きを終了した会員)

2015年1月期限の
年会費入金は
12月14日まで

12月14日(日)より受付開始

2015年2月15日(日)実施の第14回「医療経営士3級」資格認定試験の受験エントリーを、12月3日(水)より開始する。エントリーの締め切りは2015年1月7日(水)。受験料の入金締め切りは1月9日(金)。受験料の入金をもって正式に受験申請が完了する。

MMSニュースを活用して、「医療経営士」の認知度アップにご協力ください!

会員サービスの一環として毎月発行しているMMSニュースを活用して、「医療経営士」の認知度アップにご協力くださる会員様を募集しております。職場やお取引先へMMSニュースをお配りいただくことで、ご自身の活動のアピール資料としても、ご活用いただけると思います。

配布用のMMSニュースをご希望の方は下記のアドレスへ「MMSニュース希望」とタイトルをつけ、認定登録番号、お名前、御社名、所属部署、肩書き、送付先住所、電話番号、そして必要部数をご連絡ください(ご希望の部数につきましては、ご連絡をいただいた段階で調整させていただきます)。

皆様のご応募をお待ちしております!
お申し込み▶E-mail:info@jmmpa.jp

入金が完了する。受験者が複数人いる場合は団体受験申込みを受け付けており、受験料の請求、受験票、試験結果通知、合格証は

受験者全員分を団体担当者へ送付する。すでに本協会会員の方にも、それぞれの所属先で試験の案内をお願いしたい。

第14回「医療経営士3級」資格認定試験

医療経営士 資格認定試験 日程

試験日 2015年

2/15(日)

- 受験エントリー期間
2014年 12月3日(水)～
2015年 1月7日(水)
- 受験料支払締め切り
2015年 1月9日(金)

受験料	8,640円(税込) ※振込手数料別途
受験資格	年齢、学歴、国籍等の制約はありません
試験会場	札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・福岡・鹿児島

試験科目	医療サービス分野・基礎 医療人としての基礎知識(医療界・医療機関の構造/医療関連産業論)
	医療サービス分野・総合 医療史(医療法規・医療行政史/医療経営史/診療科目・診療技術の進化の歴史) 医療法規・医療行政の基礎知識、医療サービス概論(患者サービス論) 医療人としての倫理(生命倫理/医療倫理)

- ◇受験者10名を超える場合、団体としてまとめてお申し込みできます。
- ◇一定の条件を満たした場合、認定会場制度をご利用できます。※審査があります

全国8会場で
実施

受験エントリーは
ホームページから